

なんもく 山村ぐらし通信

昨年度協議会活動の中から持ち上がっていた「体験型民家」の設置と運営は、今年度村の正式な事業として活動を開始。準備に必要と思われる予算の確保や執行手続き他、事務的な業務を企画情報課が担当。体験民家に必要な調査や環境整備、庭の草むしりから掃除に至る実働部分は協議会メンバーの全面協力というかたちで動き出すことに、現在、9月始動を目標して準備を重ねている状況となります。

日向雨沢地区に体験型民家

いくつかの村内空家物件の中から、「体験型民家第一号」として決定したのは、大日向67番地石井和夫さん方の空家物件。

数年前まで、やはり移住にまみれ、汗にまみれての体験民家改修作業は必要なく、いざさか整いすぎているような気がするほど。



体験型民家の大掃除の様子

してきた方に賃貸していたこともあり、内部は黒黒とした梁や柱の一部見せる形でリフォームしてあり、風呂・トイレなどの水まわりも現代風に改築済み。

当初、協議会として体験民家の立ち上げを検討していたころに想定していた埃

にまみれ、汗にまみれての体験民家改修作業は必要なく、いざさか整いすぎているような気がするほど。

体験民家事業そのものは、今年度村の新規事業として扱われ、予算を含め改修の際の業者選定・契約、宿泊申込みの手続きなど煩雑な業務をこなしてゆくことになり、民間団体である南牧山村ぐらし支援協議会とのコラボレーションには、これまでの業務体制に加えて、スピード感と臨機応変さが求められることとなります。

体験型民家の設置にあたり、該当物件は借り上げるのかたちをとり、今回のように生活に必要な最低限の改修・備品調達を行い、移住を前提として村での生活を体験してみたいという方々に週間単位で貸し出せるようにします。

先述の通り、あくまでも村への移住希望を前提として限られたケースに限られますので、利用料として頂く料金は水道・電気料金、今後の施設維持費用、また将来的に次なる体験型民家の設置費用として活用してゆければと考えています。

役場、協議会双方にとって初めての試み。今後修正を重ねながらよりよい方向へと進んでゆくことを期待します。

まずは本村の歴史を考えて見よう。明治から戦後にかけての南牧村は、コンニャク・養蚕・山林(林業?)が盛んで、栄華を誇っていた。その象徴は全国でも類を見ないほどの大きな家々が立ち並ぶ原風景にある。あれから半世紀。その昨年度、協議会の368軒、村全体の21%が空き家となったと記載されている。

日本の山村の原風景が残る、南牧村での山村暮らしは、四季のある大自然の中で美味しい空気と水、そして心地よい人情味あふれるコミュニティの中で生活にある。これは、何物にも変

我・想・明・村

南牧村協議会長
～石井輝雄さんの我思明村～

協議会と致しまして「山村ぐらし支援協議会」の方々と、これらの問題点を共に共有しながら、支援をしたいと考えています。今、「南牧山村ぐらし支援協議会」の益々のご活躍に期待をいたします。

石井 輝雄

えがたい価値観のある人生であると感じるのは私一人ではないだろう。

少子高齢化の進む本村に於いて、長寿社会に対する給付の拡大を見直し、欧米諸国の町村のように未来に向けて投資を安心して定住できるように、包括的な村づくりを真剣に考えるべき時期に来ているのではないか。

協議会メンバーからのメッセージ！

生粋の南牧子奥平直生さん

暑い日が続く今日この頃。この通信を讀んでいるみなさん！体調管理には十分注意してください。

それでは現在協議会で取り組んでいることについて少しご紹介。私たちは今、南牧村の季節や風土などを実際に体験して山村暮らしを味わってもらうため、実際に古民家を借り上げ、短期体験宿泊するプロジェクトを進行中です。現在、古民家の修繕工事に取掛かっており、この秋頃に泊開始出来ればと考えています。最低限の生活用品を完備して宿泊してもらう予定で、利用料金については、空き家の古民家利用に比べて相対的に安い方がありがたいです。例えば5人で利用すれば一人1週間当たりは3千円程度となります。

あくまでも村への移住希望が前提となりますが、「春夏秋冬」各季節に民泊してみたい方は南牧をより深くより多くより身近に知ってもらえるのではと思っております。私たち協議会も秋の完成を目指し急ピッチで進めていきますので、完成したらぜひ南牧村の暮らしを体験しに来てくださいな。終わりになりますが、南牧の夏の風物詩「火とほら」しまつり(団・無形)や「ほら」とまつりが開催される頃、帰省で村に戻っている方もいると思います。そんな方もいると思います。ぜひ、活動中にこの通信を讀み、皆様に賛同利用していただき、体験したい方がいます。是非ご相談・ご連絡お待ちしております。

まっとおもしろいのは、だれが考(かん)げえたんだか知らねえけど、プロムナードコースつつやつたべな。このきりあんまり紹介されてねえけど、星尾(ほし)しょうから荒船の行塚山に登り上げるとまっちゃんとこに「プロムナードコース」つつや看板が立つてるから見てみいな。でも、その通り行つたんじやあ、たびれるつきだ。だから、せつかく行くなら早く降りたがらねえよ。つつやがいくつもある。ていぶんおもしろい。だから、オラオラ立岩の方つちへ行こう。鳥帽子岳の頭つちから丸山とシラケを超えて天狗岩あ行く道なんか、途中がカミソリの刃みちようめで、立岩の中級コースつちを登る。ウラ面に続くー

24年度4半期空家問合せ件数

電話による問合せ	計10件
(4月)	2件
(5月)	4件
(6月)	4件
メールによる問合せ	計14件
(6月)	1件
(5月)	1件
(6月)	3件
来村空家物件訪問	計4件
(5月)	1件
(6月)	3件

2012(平成24)年8月号
通巻第2号版(夏季号)

発行責任者：石井 悟
問合せ：南牧村役場 企画情報課
電話：0274-87-2011(代表)

紙面編集：神戸 広
発行元：南牧山村ぐらし
支援協議会
代表者：石井 裕幸

協議会HP開設しました。
<http://www.nanmoku.no.jp/sanson/>

「山歩きのおすすめ？」

～なんもく井バージョン・筆者はだれ？～

南牧つつや山も川原(かあら)もおもしれえけど、オラあやつぱり山のながおもしろいと思う。なんつたつたて全部山(しもんた)の方以外は下部に囲まれてるから歩くところがいいえある。でも、どの山あ行くんも急な登りばつたかだ、ただ、急な登りばつたんじやあ、たびれるつきだ。だから、せつかく行くなら早く降りたがらねえよ。つつやがいくつもある。ていぶんおもしろい。だから、オラオラ立岩の方つちへ行こう。鳥帽子岳の頭つちから丸山とシラケを超えて天狗岩あ行く道なんか、途中がカミソリの刃みちようめで、立岩の中級コースつちを登る。ウラ面に続くー

